

真校魅力だより その14

真室川校の伝統と誇りをつなぐ～インターハイ予選・伝承野菜の学習～

◆全国高等学校総合体育大会(インターハイ) 地区予選会・壮行式

運動部に所属する高校生にとって、高等学校総合体育大会(インターハイ)は日頃の練習の成果を発揮する一番の大会となっており、3年生にとっては競技者として最後の大きな大会となっています。

現在、真室川校の運動部は陸上競技部と柔道部、バドミントン部が活動しており、日々練習に励んでいます。

5月2日(月)には、地区総体に出場する選手の活躍を祈念して壮行式が開催され、応援団による激励のエールが送られていました。

最北地区大会では、陸上競技の個人2種目で第1位になるなど入賞が多数あり、男子フィールド総合では2年連続で第1位を勝ち取りました。また、バドミントン競技では、新庄神室産業高校と真室川校の合同チームで出場し、女子団体で第3位に入賞しました。



地区総体1600mリレー(白のユニフォームが真校)

<最北地区高等学校総合体育大会>

●陸上競技

男子やり投げ	第1位	小笠原聖斗(3年)
	第3位	栗田 聖(2年)
男子ハンマー投げ	第1位	佐藤 馨(2年)
	第2位	栗田 聖(2年)
男子円盤投げ	第3位	小笠原聖斗(3年)
男子フィールド総合	第1位	(フィールド競技における学校対抗得点)

●バドミントン競技

女子団体 第3位

新庄神室産業高校・新庄神室産業高校真室川校合同
栗田侑奈(3年)・荒木英美梨(1年)・五十嵐優衣(1年)

<山形県高等学校総合体育大会>

●陸上競技

男子やり投げ	第7位	小笠原聖斗(3年)
男子ハンマー投げ	第8位	栗田 聖(2年)

◆真室川町の伝承野菜の学習(伝承野菜の植え付け ～食は栽培から～)

真室川校の2年生は地域の協力をいただきながら、家庭科の授業の中で地産地消や伝承野菜の学習を行っています。今年は伝承野菜を使った調理だけでなく、「食は栽培するところから」と学校の畑を活用し、5月31日(火)に伝承野菜の植え付けを行いました。今回植え付けを行ったのは、甚五右エ門芋、勘次郎胡瓜、弥四郎ささぎ、黒五葉の4品目で、今後、これを食材にして生徒たちが創作料理を考え、レシピ集にまとめる計画をしています。

植え付けを体験した小野綾日さんは「甚五右エ門芋は、小学校の時に植えたことがあります。伝承野菜を使った料理をすることがないので、おいしく調理したいと思います」と話してくれました。



雨の中での植え付けとなりました

ようこそ先輩!! vol.5

真室川校の卒業生は、様々な職業に就いて多方面で幅広く活躍をしています。そんな先輩方の思いや後輩たちへのメッセージをお届けします。

～インターハイ出場の際にいただいた地域の方々からのご好意に感謝しています～



ゆき
新田 佑紀さん
(平成19年度 卒業生)

もがみ中央農業協同組合
真室川支店勤務

真室川高での一番の思い出は、3年生の時に鶴岡市で行われたインターハイ県予選会です。ソフトテニス女子団体戦の決勝で優勝候補の山形城北高と対戦、1勝1敗の3試合目はファイナルゲームにもつれ込む熱戦となりましたが、勝利をおさめ仲間と共に掴んだ初優勝でした。佐賀インターハイ出場の際は、地域の方々からご寄付をいただきました。本当に感謝しています。

高校卒業後は、地元で働きたいと今の職場に就職しました。現在、共済課でライフアドバイザーとして生命保険などの勧誘や見直しなど、ライフイベントのサポートを行っており、地域の人とのつながりを大切にしながら、保険の良さを伝えています。お客様から保険に加入していただくと良かったと言われると、仕事にやりがいを感じます。

後輩の皆さんは、何事もあきらめずに最後までやり通すことが大切だと思います。それは社会人になっても役に立つし、自信にもつながります。人生の先輩である先生方の話をよく聞き、充実した高校生活を送ってください。